

日本生涯教育学会

第37回大会プログラム

The Japan Association of Lifelong Education

2016. 12. 3 (土)

12. 4 (日)

会場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

大会参加要領

1. 受付（1階ロビー）
1日目 12月3日（土） 11時00分より
2日目 12月4日（日） 9時00分より
2. 大会参加費
会員・臨時会員共に無料
情報交換・懇親会出席者は会費3,500円（学生2,500円、要学生証提示）
3. 学会費
会員は受付で学会費の納入を受付けます。年会費は8,000円です。
4. 研究発表時間
（個人発表）自由研究部会 発表20分、質疑5分
生涯学習実践事例研究部会 発表15分、質疑5分
（共同発表）自由研究部会・生涯学習実践事例研究部会共通
発表15分×発表者数、質疑5分（但し、合計60分以内）
5. 発表者の欠席
発表者が止むを得ない事情によって、万一欠席される場合は、大会前日までに学会事務局までご連絡下さい（発表の取り消しがあった場合でも、プログラムの発表順を繰り上げることはありません）。
6. 大会に関する連絡先
学会事務局（TEL 03-5937-0062）
※大会当日の緊急の連絡は、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（TEL：03-3823-0241）までご連絡下さい。
7. 大会本部・休憩所
本部：2階：第2講師室 休憩所：1階：ロビー、3階：ロビー
8. 研究発表等会場
（生涯学習政策研究フォーラム）3階：講堂
（自由研究部会）3階：第1セミナー室、第2セミナー室、講堂、2階：実習室
（生涯学習実践事例研究部会）3階：講堂
（展示発表）3階：ロビー
9. 情報交換・懇親会会場
東京芸術大学大浦食堂

会場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-43 TEL 03-3823-0241

主催 日本生涯教育学会
（事務局）〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
TEL 03-5937-0062 FAX 03-3368-2822

	午前		午後				
1日目 12月3日 (土)	評議員会 11:20~ 12:10	全国理事会 年報編集委員会 12:20~ 13:20	開 会 式 13:30~13:45	生涯学習政策 研究フォーラム 13:50~15:50	研究発表 自由研究部会 16:00~17:50	情報交換 ・懇親会 18:15~ 19:45	
【受付 11:00~】							
2日目 12月4日 (日)	総 会 9:20~9:50	研究発表 生涯学習実践 事例研究部会 10:00~ 11:50	新 理 事 会 12:30~13:00	研究発表 自由研究部会・展示発表 13:00~15:15 (展示発表は 12:30~)	会 長 賞 表 彰 式 15:20~15:30	閉 会 式 15:30~15:40	
【受付 9:00~】							

大会日程

1日目 12月3日(土)

受付	11:00~	1階 ロビー
評議員会	11:20~12:10	2階 会議室
全国理事会・年報編集委員会	12:20~13:20	2階 会議室
開会式	13:30~13:45	3階 講堂
あいさつ		
	会 長	浅井 経子 (八洲学園大学)
	特別顧問	銭谷 眞美 (東京国立博物館)
生涯学習政策研究フォーラム	13:50~15:50	3階 講堂
研究発表 (自由研究部会)	16:00~17:50	各会場
情報交換・懇親会	18:15~19:45	東京芸術大学 大浦食堂

生涯学習社会における学校と地域の連携・協働

— 「学社融合」論からの 20 年と今後の展望

「地域の教育力の低下」が問題となってから、既に四半世紀が経っています。また、本学会年報第 17 号で「学社融合の生涯学習」が特集されてから今年でちょうど 20 年です。この間、地域レベルでは、ネットワーク型行政のもとに、地域住民の協力を得て、学校支援地域本部、放課後子供教室、家庭教育支援、土曜学習等、様々な取組が実施され、学校教育と社会教育の統合のもとで優れた実践が生まれています。

中央教育審議会では、平成 27 年 12 月に「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)」を発表し、すべての学校をコミュニティ・スクールとし、また、地域住民や団体等による緩やかなネットワークにより地域学校協働活動を推進する「地域学校協働本部」を設けることを提案しています。そこで、本大会におけるフォーラムでは、学校と地域の連携・協働に関する研究の成果を振り返るとともに、国、地方、実践現場等の視点から、連携・協働に関する新たな生涯学習政策研究の在り方について意見交換を行ないたいと思います。

登壇者	西井 知紀	(文部科学省)
	佐々田 亨三	(由利本荘市教育長)
	水谷 修	(東北学院大学)
コーディネーター	井上 昌幸	(栃木県教育委員会)
	志々田 まなみ	(広島経済大学)

自由研究部会Ⅰ

3階 第1セミナー室 司会 横山 幸司 (滋賀大学)

	コード	題目	発表者 (所属)
16:00-16:25	Ⅲ-22	学校と地域の連携に関する質的研究 ：新潟市地域と学校パートナーシップ事業における 各学校での成果と課題の変遷に焦点を当てて	佐藤 裕紀 (新潟医療福祉大学)
16:25-16:50	Ⅲ-32	地域との協働が学校を変えた ～横浜市立T中学校地域交流事業・10年の軌跡	坪内 一 (横浜市緑区役所)
16:50-17:15	Ⅱ-2	大学の社会教育支援による地域活性化の方法と実践	安部 耕作 (大分大学)
17:15-17:40	Ⅳ-4	福岡県岡垣町における大学と行政の地域連携	山田 明 (九州共立大学)
17:40-17:50		討議	

自由研究部会Ⅱ

3階 第2セミナー室 司会 糸賀 真也 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

	コード	題目	発表者 (所属)
16:00-16:25	Ⅱ-8	美術館における教育担当者の専門性形成に関する 考察	大木 由以 (青山学院大学)
16:25-16:50	Ⅱ-6	小規模博物館における教育普及活動の位置づけに 関する考察	林 勇介 (湧別町教育委員会)
16:50-17:15	Ⅱ-1	長期的なジオパーク活動を支えるための基盤構築に 関する一考察	薄井 伯征 (秋田県町村電算システム共同事業組合 (大潟村派遣))
17:15-17:40	Ⅱ-6	学校と博物館の連携に関する研究 (3) —博物館の設置者に着目した考察—	林 幸克 (明治大学)
17:40-17:50		討議	

自由研究部会Ⅲ

3階 講堂 司会 大島 まな (九州女子大学)

	コード	題目	発表者 (所属)
16:00-16:25	Ⅲ-33	教員の学びとパースペクティブの変容	白山 真澄 (東海学院大学短期大学部)
16:25-16:50	Ⅲ-22	教職課程における学びに必要な支援の検討 —アクティブ・ラーニングを中心に—	大西 麗衣子 (尚美学園大学)
16:50-17:15	I-5	持続可能な社会を目指した世代間交流による大学 教養教育	○大橋 眞 (徳島大学) 齋藤 隆仁 (徳島大学)
17:15-17:40	Ⅲ-1	生涯教育・学習論における「統合」概念 (4)	山田 誠 (愛媛大学)
17:40-17:50		討議	

自由研究部会Ⅳ

2階 実習室 司会 青木 康太朗 (国立青少年教育振興機構)

	コード	題目	発表者 (所属)
16:00-16:25	Ⅲ-32	デンマークの地方自治体のユースカウンシルと 若者の政治参加の多様性	原田 亜紀子 (東京大学大学院生)
16:25-16:50	Ⅲ-32	青少年教育施設における雪の特性を生かした 冬の体験活動プログラムの開発 —大学と連携した自然体験型環境学習の実践から—	松浦 賢一 (北海道教育委員会)
16:50-17:15	Ⅲ-32	東京 YMCA 少年部におけるグループワーク実践の展開	青山 鉄兵 (文教大学)
17:15-17:40	Ⅲ-32	青少年の体験活動遂行の把握に関する検討 —自然体験活動を中心に—	白木 賢信 (常葉大学)
17:40-17:50		討議	

情報交換・懇親会

18:15-19:45

東京芸術大学 大浦食堂

司会 薄井 伯征 (秋田県町村電算システム共同事業組合 (大湯村派遣))
 渋谷 恵 (明治学院大学)

あいさつ
 副会長 澤野 由紀子 (聖心女子大学)

2日目 12月4日 (日)

受付	9:00～	1階 ロビー
総会	9:20～ 9:50	3階 講堂
研究発表 (生涯学習実践事例研究部会)	10:00～11:50	3階 講堂
新理事会	12:30～13:00	2階 会議室
研究発表 (展示発表)	12:30～15:00	3階 ロビー
研究発表 (自由研究部会)	13:00～15:15	各会場
会長賞表彰式	15:20～15:30	3階 講堂
	司会 松橋 義樹 (国立青少年教育振興機構)	
閉会式	15:30～15:40	3階 講堂
	副会長あいさつ 清國 祐二 (香川大学)	
	新会長あいさつ	

生涯学習実践事例研究部会

3階 講堂 司会 二宮 伸司 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

	コード	題目	発表者 (所属)
10:00-10:20	V-1	「ホイスコーレ札幌」9年の軌跡	生越 玲子 (ホイスコーレ札幌)
10:20-10:40	V-1	市民活動センターと図書館の連携・協働 —高崎市を例として—	秋山 美和子 (高崎市市民活動センター)
10:40-11:00	V-1	インターネットを介した学習コミュニティにおける 市民講師活動の課題と支援方策の考察	柵 富雄 (富山インターネット市民塾推進協議会)
11:00-11:20	V-1	家庭教育プログラムとファシリテータ養成と普及 システムの構築 ～熊本の親の学びと長崎のファミリープログラムの推進～	三角 幸三 (宇城市中央公民館)
11:20-11:40	V-1	保護者とNPOの協働による放課後活動支援事業の 成果と課題 —「宮小よさこいクラブ」の実践を中心に—	宮地 孝宜 (東京家政大学)
11:40-11:50		討議	

展示発表

3階 ロビー 12:30-15:00 ※説明・質疑時間 12:30-13:00

コード	題目	発表者 (所属)
II-1	定住促進をめざす漁村の社会教育関連団体の現状と 課題 —京都府宮津市養老地区の子育て支援の事例を中心に—	堀出 雅人 (華頂短期大学)
III-22	学校教育と博物館の関係を考える “実践・方法論的研究” から “連携に至るまでの過程 研究” へ	八田 友和 (兵庫教育大学大学院生)

自由研究部会Ⅴ

3階 第1セミナー室 司会 青柳 英治 (明治大学)

	コード	題目	発表者 (所属)
13:00-13:25	Ⅲ-33	生涯教育研究と質的研究法	山内 薫 (早稲田大学大学院生)
13:25-13:50	Ⅲ-24	A市における高齢者体力づくり支援事業「ニューエルダー元気塾」に関わる研究 ～情動の変化を中心に～	水谷 和孝 (日本ニュースポーツ研究会)
13:50-14:15	Ⅱ-6	公立図書館における公共サービス基本法の影響	赤山 みほ (筑波大学大学院生)
14:15-14:40	Ⅱ-6	地方分権一括法の成立に伴う図書館法改正 (1999年7月) について	○春田 和男 (東京家政大学) 葉袋 秀樹 (筑波大学名誉教授)
14:40-15:05	Ⅱ-6	「公立図書館の設置及び運営に関する基準」(1992)の規定・数値目標の特徴について	葉袋 秀樹 (筑波大学名誉教授)
15:05-15:15		討議	

自由研究部会Ⅵ

3階 講堂 司会 市川 重彦 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

	コード	題目	発表者 (所属)
13:00-13:25	Ⅲ-32	社会教育行政施策が「地域の教育力」の向上に及ぼす影響 —学区内のソーシャル・キャピタルに着目して—	神田 雅貴 (川島町役場・大正大学大学院生)
13:25-13:50	Ⅲ-22	公立中学校の部活動における外部指導員の活用に関する研究	川口 厚 (桃山学院大学)
13:50-14:15	Ⅲ-34	大学・学部へ正規入学したシニア層 (50才以上) 学生の大学での学びに関する考察 —シニア卒業生を対象にした調査結果の分析から—	飯嶋 香織 (神戸山手大学)
14:15-14:40	Ⅲ-22	美術に関する生涯学習支援における中学美術の役割	桑村 佐和子 (金沢美術工芸大学)
14:40-14:50		討議	

研究領域・研究分野コード一覧表

〔研究領域〕	〔研究分野〕
I. 生涯学習研究	1. 生涯学習理論 2. 生涯学習研究方法論 3. 生涯学習史 4. 生涯発達論 5. 生涯学習内容・方法論
II. 生涯学習支援研究	1. 生涯学習振興・推進論 2. 生涯学習支援システム論 3. 生涯学習行財政論 4. 学習情報論 5. 学習相談論 6. 生涯学習関連施設論 7. 学習機会提供論 8. 生涯学習人材論 9. 生涯学習評価論 10. 学習成果活用論 11. その他の生涯学習支援研究
III. 生涯教育研究	1. 生涯教育理論 2. 生涯教育領域論 2 1. 家庭教育論 2 2. 学校教育論 2 3. 社会教育論 2 4. 生涯スポーツ・社会体育論 2 5. 企業教育論 2 6. 遠隔教育論・放送教育論・通信教育論 3. 生涯各期の教育・学習論 3 1. 乳幼児教育・学習論 3 2. 青少年教育・学習論 3 3. 成人教育・学習論 3 4. 高齢者教育・学習論 4. 女性の生涯教育・学習論 5. 各国の生涯教育・生涯学習
IV. 総合・複合研究	1. 総合・複合研究 2. 生涯学習社会論 3. マスコミ文化論 4. 現代的課題研究
V. 実践事例研究	1. 実践事例研究

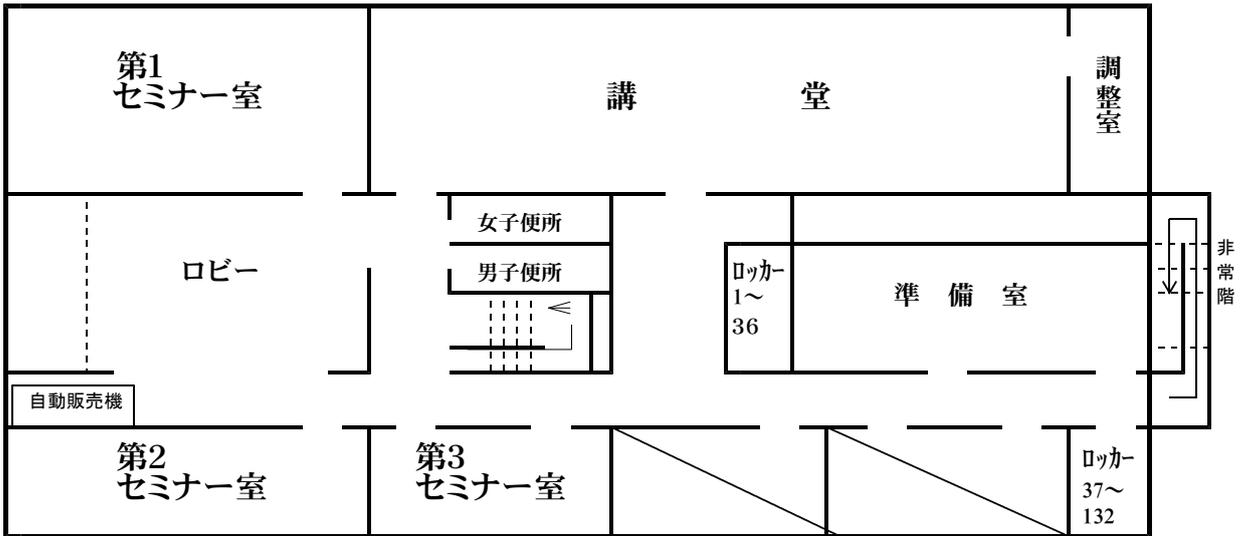
(1) 各研究発表に付されているコードは、上記の表によるものです。

(2) コードは発表申込者の申請によるものです。ただし記入のないものは委員会の判断でコードを付し、また2つ以上記入のあるものは主なもの1つのみを付してあります。

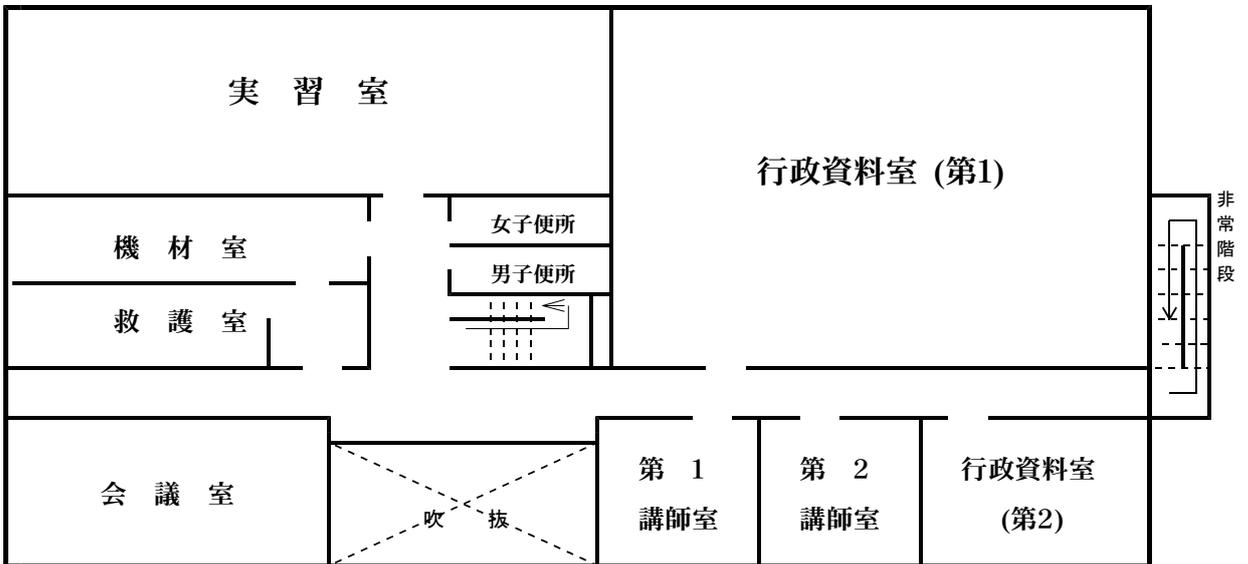
(3) 所属は原則として発表申込者の申請によるものです。

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 案内図

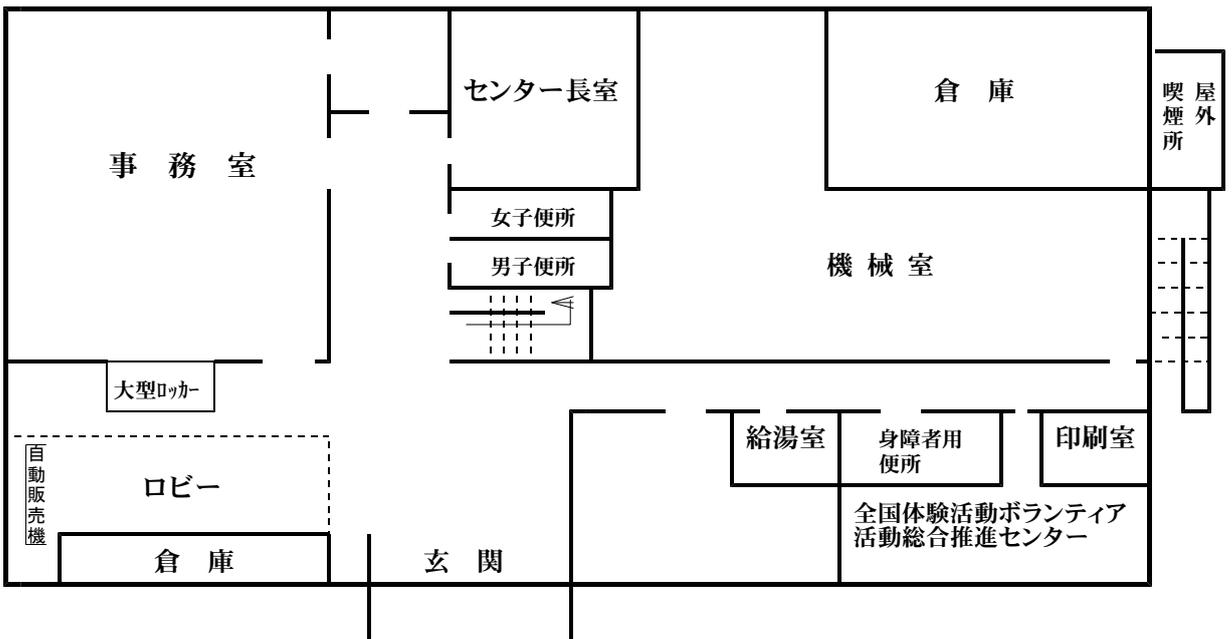
3 階



2 階



1 階



国立教育政策研究所社会教育実践研究センター一周辺案内図

